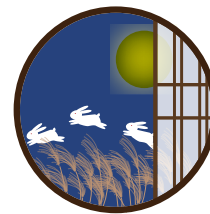




2022-23年度RIテーマ  
イマジン・ロータリー

国際ロータリー 第2780地区

## 寒川ロータリークラブ



事務所: 〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山7番地 サンワビル2F

TEL 0467(73)0046 FAX 0467(74)0027

例会場: 寒川神社参集殿 例会日: 月曜日 18:30

会長 石腰 亮 幹事 小澤千明

会報委員(クラブ管理運営委員会)

島村盛晶 山本和好 石丸博久 大澤 剛 小澤千明

菊地良夫 鈴木郁男 茂内 勝 二見 茂

### 第2227回例会 2022年10月17日(月) 曇り時々雨

司会 山本和好副幹事

黙唱 我らの生業

ソングリーダー 島村クラブ管理運営委員長

ゲスト 第2780地区ガバナー 佐藤祐一郎様(津久井中央RC)、第4グループガバナー補佐  
當間安弘様(茅ヶ崎中央RC)、ガバナー補佐幹事 小林拓也様(茅ヶ崎中央RC)

#### 会長の時間 石腰会長

皆さん、こんばんは。昨日の地区大会には大勢の皆様に参加いただき、ありがとうございました。小澤幹事と私は15日の地区大会第1日目より参加しました。第1日目は地区決算報告、地区委員会報告がなされ、会計は適正と認められました。委員会報告では、委員会は15くらいあり、たくさんの委員会が充実して現在まで進められていることが報告されました。昨日16日の本会議には16名の会員で参加を致しました。皆様大変お疲れ様でした。ありがとうございました。今日もまた、佐藤ガバナー、當間ガバナー補佐、小林ガバナー補佐幹事の皆様には、寒川のガバナー訪問例会にお越しいただき、連日お疲れのところ誠にありがとうございます。今日は、少ない人数の会ですから、どうかゆっくりしていただきながら、いろいろご指導下さいますようお願い申し上げます。さて、少し当クラブの報告をいたします。創立50周年記念事業のロータリーの泉の改修工事がこの25日から行なわれます。その改修清祓いを行うことになりました。25日午前9時より現地で執り行いますので皆さんの参加をお願い致します。また、泉改修工事の参加をメイクアップ扱いにできないか、という話を受けましたので、臨時理事会に諮りメイクアップ扱いの承認が得られましたので、報告しご承知置き願います。臨時理事会でもう一つ、7月に入会された石丸会員、眞原会員の創立50周年実行委員会組織編入についてご承認いただきました。石丸会員には親睦・姉妹クラブ部会に、眞原会員には記念事業部会にて奉仕いただくこととなりました。以上報告いたしますので、皆様ご了承の上宜しくようお願い申し上げます。今日はせっかくガバナー

一、ガバナー補佐、ガバナー補佐幹事の皆様がこの寒川の地にお越しくださいましたので、寒川神社について少し紹介させていただきたいと思っております。例会前の先ほど、佐藤ガバナーはじめ地区役員の皆様お揃いで寒川神社を正式参拝していただきました。ちょうど今日は寒川神社では午前11時から神嘗奉祝祭が斎行されました。毎年この17日に斎行されているお祭りですが、皆様にとっては例祭や新嘗祭より、少し馴染みが薄いかと思っております。ですが、私たちの総氏神とされる伊勢の神宮にとっては、今日は特別な慶祝、収穫を喜び、祝う日なのです。それを神嘗祭(かんなめさい)と言います。伊勢の神宮では年中最大の収穫祭であり、その年の新穀を初めて神様に召し上がっていただく祭です。その日に全国各地の神社では神嘗祭を奉祝する神嘗奉祝祭という祭りが執り行われています。参列者は役員、総代、顧問・参与の方で、約30名でした。パストガバナーの田中賢三様(茅ヶ崎RC)も参列下さいました。昨日の今日であり、ほんとうにご奇特の至りと感激いたしました。どうぞ後半の例会、佐藤ガバナー、當間ガバナー補佐、小林ガバナー補佐幹事、皆様何卒宜しくお願い申し上げます。以上で会長の時間を終わります。

#### 臨時理事会報告

##### 審議事項

- 今年度入会会員2名の創立50周年実行委員会組織編入の件…○石丸会員:親睦・姉妹クラブ部会 ○眞原会員:記念事業部会、承認
- 創立50周年記念事業「ロータリーの泉改修工事」参加を

#### 出席報告

会員数	出席計算会員数	出席会員数	暫定出席率	確定出席率
33名	32名	27名	84.38%	
本日欠席者	椎野会員、中野会員、二見会員、山本哲会員、鈴木正秋会員			

メイクアップ扱いとする件（クラブ定款第10条出席第1節(d)項(3)により、理事会承認のクラブの奉仕プロジェクトに出席することはメイクアップの方法として認められています）…承認

### 佐藤ガバナーより、前年度ガバナー公式訪問以降の入会者へテーマバッジ贈呈



茂内会員  
石丸会員  
眞原会員



### 誕生祝



10月生まれ  
井上 稔 会員

### 米山記念奨学会より米山功労者感謝状贈呈

- 第1回米山功労者：島村会員、若菜会員
- 第2回米山功労者：金子会員
- 第3回米山功労者：秋本会員
- 第6回米山功労者：菊地会員

### 幹事報告 小澤幹事

### 例会変更

綾瀬春日、茅ヶ崎、茅ヶ崎湘南、茅ヶ崎中央、大和、大和中、各RC

### 週報受理

台北士林RC

### その他受理

#### ●ガバナー事務所

- ～第25回神奈川県ロータリー親睦チャリティ野球大会見学・応援参加のお知らせ（野球同好会を持っているクラブによる野球大会 10/5(水)8:00～ 於：いせはらシャインスタジアム・厚木市宮玉川球場）
- ～2025-26年度ガバナーノミニー選出の件（候補者推薦締切：12/1(木)12:00 必着）
- ～2022-23年度地区補助金特別応募募集の件（申請書提出期間：11/1～23.1/31 緊急性の高いものは物品寄付を認める）
- ～2022年決議審議会決議案について（MY ROTARY から閲覧可能）
- ～地区大会参加に対するお礼状

#### ●ボーイスカウト寒川第2団・寒川神社少年館

- ～助成金贈呈に対するお礼状

### 回覧

○寒川神社社報「相模」第530号

○ハイライトよねやま vol.271

### 委員会報告・地区および地域出向者報告

創立50周年実行委員会記念事業部会 金子部会長  
先ほど会長からお話がありました通り、50周年記念事業「ロータリーの泉改修工事」はメイクアップ扱いになることが理事会で承認されましたので、10/25(火)から始まる改修工事に1回でもいいのでご参加よろしく願います。25日は安全祈願のお祓いをしていただき、ある程度壊せるところまで進める予定です。2日目は28日(金)に作業を行い、進行具合によっては29日(土)もやることになると思います。少なくとも11月第1週のうちには取り壊しを完了させ、防水シート張り・鉄筋・型枠設置、コンクリート打設となります。一部はプロにお手伝いいただこうと思っていて、若菜会員に左官屋さんとのスケジュール調整をお願いしています。決まり次第皆さんにアナウンスしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

### 同好会報告

#### ゴルフ同好会 椎谷会長

先般の6RC親睦ゴルフコンペに於きまして、佐藤ガバナー並びに當間ガバナー補佐から多額の寄付をいただきました。ありがとうございました。団体戦の優勝は茅ヶ崎中央RC、2位は寒川RC、3位は茅ヶ崎湘南RCとなりました。優勝を狙っていたのに残念でした。寒川RC第260回が12/9に予定されております。同好会の皆様、多くのご参加をよろしくお願いいたします。

### 2227回スマイルボックス 石丸クラブ管理運営委員

合計46,000円

◎第27802地区ガバナー 佐藤祐一郎様(津久井中央RC)

皆様にお会いするのを楽しみにしておりました。日頃よりお世話になります。本日はよろしくお願い申し上げます。

#### ◎第4グループガバナー補佐 當間安弘様(茅ヶ崎中央RC)

1) ガバナー公式訪問となります。ガバナー補佐訪問では、舌足らずでお話をしないところも多々あり、お詫びをいたします。今日は佐藤ガバナーの卓話を満喫してください。後段では全開いただきました質問事項をお答えいただけます。

2) 先週開催の6RC親睦ゴルフコンペの企画と運営、ありがとうございました。良い天気ではなかったですが、楽しい親睦ができました。また、地区大会土曜日は会長幹事会と晚餐会、日曜日には本会議と行事が続いておりますが、本日もよろしく願いいたします。

#### ◎ガバナー補佐幹事 小林拓也様(茅ヶ崎中央RC)

皆さんこんばんは。本年度ガバナー補佐幹事を務めております小林です。ガバナー補佐訪問に引き続き本日のガバナー公式訪問、石腰会長・小澤幹事を始めとする寒川RC様の皆様には大変お世話になります。本日もどうぞよろしく願いいたします。

#### ◎石腰会長・小澤幹事

地区大会後で大変お疲れの中、佐藤ガバナーにおかれましては寒川RC公式訪問、ありがとうございます。また、當間AG、小林AG幹事もありがとうございます。短い時間ですがよろしく願いいたします。

#### ◎清水会員

10/14「6RC親睦ゴルフコンペ」清川CCでエージシュートを達成しました。80歳で79ストロークです。

#### ◎若菜会員

前回寒川RCゴルフコンペにおいてハンディに恵まれ優勝させていただきました。ありがとうございます。

#### ◎秋本会員

1) 10月15-16日に関東シニアソフトボール連盟主催の大会が熊谷市で開催され、各県代表16チームが参加し、我がシニア厚木チームは準決勝で敗れましたが3位になりましたのでスマイルします。

2) 佐藤ガバナー、本日はご苦労様です。よろしく願いいたします。

#### ◎下里会員

昨日は初めての地区大会参加、とても感動いたしました。ポリオ委員会として募金活動をさせていただきました。皆様のご協力の下、306,200円になりました。ありがとうございました。

#### ◎井上稔会員

1) 佐藤ガバナー、本日は公式訪問よろしくお願いします。

2) 誕生祝をいただき、ありがとうございました。

#### ◎井上晋一会員

地区大会に引き続き当クラブのガバナー公式訪問と忙しい中ありがとうございます。

#### ◎椎谷会員

1) ガバナー 佐藤祐一郎殿、本日はよろしく願いいたします。

2) 當間ガバナー補佐、6RC親睦ゴルフでは一緒での楽しいプレー、ありがとうございました。

◎青木、石塚、石丸、磯川、内野、大澤、金子、菊地、茂内、島村、鈴木(郁)、高波、眞原、三澤、三留、村松、

#### 山本(和)、各会員

#### ガバナー公式訪問

「佐藤祐一郎ガバナーをお迎えして」

#### 第2780地区ガバナー

佐藤祐一郎様

(津久井中央RC)

こんばんは。昨日・一昨日と地区大会にご出席いただき、ありがとうございます。

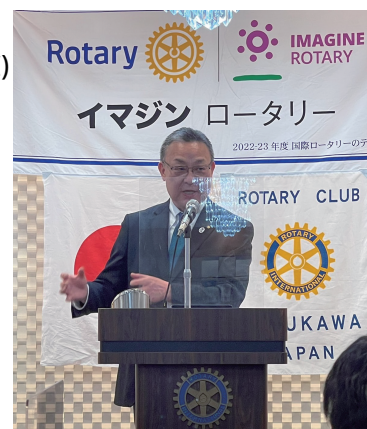
今日はここへ来る前に石腰会長・小澤幹事に寒川神社をご案内いただきました。

ありがとうございます。

さて、当地区には當間さんを始めガバナー補佐が10人おりますが、今年度は全員男性で真っ黒です。第2780地区の女性会員比率は13%です。世界は25%ですが、日本全体では7%しかありません。韓国はもっと高いですが、当地区の13%は日本で1番です。ずっと東京が1番でしたが、この何年かで抜きました。今年度初めの時点で東京は12.3%です。あまり変わらないと思われるかもしれませんが、この0.7%が大きいのです。とは言え13%ですから、10人のガバナー補佐を選ぶと、女性は1人入るか入らないかということになってしまいます。この10人のガバナー補佐は皆さん大変優秀で、今日の話も當間さんがしっかりされていると思いますし、昨日、RI会長代理の四宮さんがDEIについてもお話しされたので、今日の私の話とダブるところがあるかと思いますが、若干ニュアンスの違うところがありますのでその話をさせていただこうと思っています。今年度RI会長のジェニファー・ジョーンズは女性で初めてのRI会長ですが、ご本人は「女性だから会長になった」と言われることに非常にプライドを傷つけられたそうです。なぜかという

と、「RIの理事の中で会長に一番ふさわしいのは私であり、それがたまたま女性ただただで、女性だからRI会長になれたわけではない」ということです。さて、私がガバナーエレクトだった2月に国際協議会がWebで開催されました。コロナによって2年連続のWeb開催です。地区によっては次年度のRIテーマや方針を勉強するのが2月中旬では遅すぎるところもあり、1月19日にRIテーマ「イマジン ロータリー」だけが先行して発表されたわけですが、いろいろなことを想像してくださいと言っている内容は、全てポジティブな未来です。例えば

増強の問題。寒川RCの5年後はこのままだったら5人会員減になるかもしれない。10年後には会員数が半分になるかもしれない。だから会員増強しなければ!といったマイナスのイメージではなく、「5年後には5人増やそう」「10年後には会員数を倍にしよう」というポジティブな考えの下、寒川RCとして「どういうクラブになりたいのか」「どういう奉仕活動をするのか」。そのために会員を増やそう!ということだと理解しました。ジェニファー・ジョーンズRI会長は数字を言わない人です。その代わりクラブで考えてくださいと。ジョーンズ会長がこの



ような考えに至ったのは、アメリカの黒人で女性のマヤ・アンジェロウという有名な詩人が言った「誰かが私に何をしたかとか、私が何かをされたかとか、そんなことは覚えていないけれど、その時私がどう感じたか、どう感じさせられたかということは生涯忘れることがない」という言葉からだそうです。私もこの考えに賛成で、皆さんがポジティブに動けるように気持ちを高揚させていくことが私の仕事だと思っています。ジェニファーは「ロータリーファミリー一人一人を大切にしてください。優しさと思いやりと配慮をもって接してください。その人に役割を与え、責任を与え、何かを担ってもらって、クラブに積極的に出られるように居心地の良いクラブにしましょう」と言っています。そうしてできたクラブは『みんなが集まりたい場所』であり『ワクワクする場所』になるでしょう。『きっと明日は今日よりもっと良くなる』『明日から私は昨日までできなかったすごいことができるような気がする』はずです」と言っています。誰一人取り残されてはいけません。それが大事なんだと。では、DEIについて話を進めましょう。D: DIVERSITYダイバーシティ(多様性): ロータリーは年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会経済的地位、文化、性別、性的指向、性自認への言及にかかわらず、あらゆる背景、経験、アイデンティティを持つ人たちの多様性を重んじます。E: EQUITYエクイティ(公平さ): ロータリーは参加者が快適かつ生産的な体験をできるように、さまざまなレベルの支援、機会、リソースを提供する方法について慎重に検討します。I: INCLUSIONインクルージョン(包摂): ロータリーは、すべての人が歓迎され、尊重され、大切にされる経験を創造します。ロータリーはこのDEIを取り入れ、それを行動で示すという方向に進んでいきます。今、どんな小さな組織であっても、ロータリーのような社会奉仕団体ならなおさら、DEIを取り入れなければ社会に認められないのです。話がわき道にそれますが、ロータリー用語は英語を日本語に訳した際に微妙な齟齬が発生していると思う時があります。例えば「service=奉仕」と翻訳されていますが、私が妻のために皿を洗うのはサービスだが奉仕ではない。ちょっとニュアンスが違います。「fellow ship=親睦」と翻訳されていますが、friendではなくfellowです。ただの友達同士ではなく目的をもって集う仲間はfriendではなくfellow。「vocational service=職業奉仕」も難しい言葉です。RIにはすでに職業奉仕委員会は存在しません。1業種一人ではなくなりました。誰でも会員になれる。日本・台湾・韓国などアジアの国々からもう一度職業奉仕委員会を復活させてその重要性をRIでも再認識しろ!と決議案が提出されますが取り上げられた試しがない。今はローターアクトもRIの会員です。18才からRIの会員になれる。18才ではまだ職業についていない人もいる状況で職業奉仕を説いても伝わらないので、職業奉仕ではなくお互いが共感できる哲学や理念が必要なんだと思います。そして私なりに職業奉仕をこう理解しました。職業を天から与えられた役割と考えたらどうでしょう。「我々が担うべき役割」を果たすためにロータリーの哲学や理念があるのだと。次に地区の活動指針についてお話しします。私は「取り戻そう!」を掲げました。COVID-19による2年間、

あるいは117年のロータリーの歴史の中で会員として、あるいはクラブとして、失ったり、忘れたり、希薄になってしまったものがあるとすれば、変革と共に、もう一度取り戻すべきものを確認し、取り戻しましょう!もう一つは「記憶に残る年にしよう!」ロータリーの基本はクラブ、さらに言うなら会員ひとり一人です。団体としての協調性、その目的やモラルに反しない限り、クラブの自主性や自律性は守られ最重視されています。だからこそクラブはロータリーの目的に向かって、独自性を発揮し、特徴ある生き生きとしたクラブになるべきです。そのための努力が必要です。ひとり一人の行動と精神性こそ誇るべきではないでしょうか。ジェニファー会長エレクトはとても印象的なテーマを掲げました。クラブで考え、今まで成し遂げていないようなことに向けて行動し、新しい歴史を作り、クラブにとって印象的で記憶に残る年度にしましょう。どんなことでも構いません。クラブで考え、ひとつ今までにない記憶に残る成果をあげましょう。

### クラブフォーラム <佐藤ガバナーへの質疑と応答>

司会: 當間ガバナー補佐

**Q:** 本年度は寒川RCで会計と長期ビジョン委員会の委員長を担当しておりますが、地区のビジョンとしても「私たちは、地域社会の変化とニーズを捉え、地域社会にインパクトをもたらす、多様な人々との出会いとつながりを活かして、良い奉仕を実践するために積極的に行動します」ということで、地区のビジョンが掲げられています。それも踏まえて、寒川RCも様々な奉仕活動をしていく中で、ロータリー財団の地区補助金を活用ができたなら何度か相談をさせて頂きましたが、申請上の運用ルールがあるとは思いますが、もう少し寄り添ってお話ができること、また使いやすい仕組みを検討していただけたらと思います。

**A:** どうやったら地区補助金が見える申請書が書けるのか相談にのって下さいと補助金管理委員会には伝えてありますが、「物品の寄贈」と「公共イメージ向上などのPRのみ」は申請の時点で却下されます。たとえウチの地区がOKしたとしてもロータリー財団で落とされます。実際、当地区の補助金審査はとても厳しいです。だからこそ、地区を通った申請書はロータリー財団でも必ず承認されます。地区によってはいい加減な審査しかせずほぼ全ての申請書を通してしまいうところもあると聞きました。地区を通ってもロータリー財団で落とされてしまうので、結果その地区の補助金は使い切れずに余ってしまうこととなります。2780地区はほぼ使い切っています。どうやったら補助金申請が通る申請書を作成できるのかは、是非地区の補助金委員に聞いてください。彼らはプロです。今年年内実施のプロジェクトに限った追加募集が出ました。こちらは「緊急性があれば物品寄贈も可」となる可能性があります。こちらもお話しいただければと思います。

**Q:** 同じようなレベルの申請であれば、どちらのクラブがより多く財団への寄付をしているのかが最終的な可否の判断基準になると聞いたのですが。

**A:** MOUにおいて財団寄付の金額を申請承認の判断基

準にはいけないと謳っていますが、あまりにも寄付金額が少ないクラブには「来年はせめて目標額は寄付して欲しい」と伝えることはあるかもしれません。

**Q:**米山の奨学生は受け入れやすいのですが、青少年交換留学生の受け入れに関して、問題点が多いです。地区では今後、青少年交換留学生の受け入れについて方針を変えるお考えはないでしょうか？

**A:**そういったご意見をよく聞きます。現在「青少年交換の手引き」に基づいて受入れています。実際、問題は多い。来年の決議委員会に茅ヶ崎RCから青少年交換のやり方について改善すべきという決議案が提出されましたが、却下されました。RIでは今年度中に「青少年交換の手引き」に代わるものを作成中だからというのがその理由です。現行の物とどこがどう変わるのかはまだわかりませんが、少なくともどこかを変更しようとしているので、それを見てからの判断となります。現状、各グループによって青少年交換学生の受入れの仕方は違っています。それぞれの地域の特色もあり、一概に統一すれば良くなるというものでもないと思っています。青少年交換ができる地区はその地区の治安や財政状況などによって限られています。今2780地区のローターアクト:青少年交換を終えて帰ってきた学生たちは、この2年間受け入れも送り出しもない状況の中とても頑張っています。また、先日の応募説明会には40人の学生が来ました。おそらくそれ以上の学生の応募があると思いますが、そのくらい学生たちからロータリーの青少年交換事業は期待されているということも事実です。ですから、簡単に「やめてしまえばいい」とは言えないと思っています。

**Q:**ロータリーに入会して間もない中ですが、身近な方でロータリーに入会できそうな方にお声がけをしております。会員増強をしていく中でこういった勧誘の仕方が効果的でしょうか？また、数多くの病気がある中で、ロータリーがなぜポリオの根絶を選んだのか、その理由を教えてください。

**A:**奉仕活動をやる中でPRしていくのが一番だと思います。多くの新会員を入会させたある会長に聞いたところ、候補者がいたらこう尋ねるそうです。「君は何を求めているのか?」「君は何かやりたいことはないのか?」「5年後、10年後に君はどうなりたいのか?」そして、「その夢をかなえるためにはロータリーのこの仕組みを使えばいいよ」と誘っているそうです。もし、自分のクラブでその人の夢がかなえないそうもなかったら他のクラブを紹介してあげてもいるそうです。パワーで押しまくる方法もあれば、「今年度は1名の増強でいい。ただし、厳選した新会員に入会してもらって長く会員でいてもらう」というクラブもあります。そのクラブに合ったいろいろな勧誘の仕方があると思います。

ポリオについて。○1978年、東京での国際大会において最優先事項として世界の子供たちに「ポリオのない世界を届ける」ことを採択し約束。前年に歴史上初めて「天然痘」が根絶されたこともきっかけの一つでした。○その後、国際ロータリーがWHO(世界保健機関)にポリオ根絶活動と呼びかけたが理解を得られず、ロータリーが単

独でワクチン接種をスタート。1979年には世界61か国でワクチン接種を行ったが、当時世界には毎年35万人の子供がマヒに陥っていた。○その年、フィリピンで600万人の子どもへの接種と200億円の寄付達成、翌年には400億円の寄付を達成したことでWHOが国際ロータリーと協力してポリオ根絶活動を進めることを表明。

○その後、ユニセフ(国際連合児童基金)も参加を表明し、1988年にはWHOが官民共同の「世界ポリオ根絶推進活動 GPEI」を立ち上げ。ロータリアン一人一人の活動が世界を動かし結実しました。○国連の40周年(国際ロータリー創立80周年)にあたる1985年に 国際ロータリーは1億2000万ドル(120億円)を集めるという声明を出し、ポリオプラス・プログラムを設ける。○ポリオと共に、ハンカ(麻疹)、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の5つをプラスして、同時に撲滅することを目的にした。○その後、ポリオの根絶を遂行するのに必要な機材・機関などをプラスと呼び、現在では世界的なポリオ根絶活動がもたらした遺産や多くの研究結果による功績のことを指します。○1995年に、ポリオプラスの目標を「2000年までにポリオを一掃し、ロータリー 100周年にあたる2005年までにポリオ撲滅を証明すること」を決めました。しかし残念ながら、これは2026年までという目標に変更されました。なぜポリオなのか。ポリオは罹ってしまったら治療法がない。だがワクチンで予防ができる病気だから。去年までは2か国だったのが今年アフリカで新たに発症し、罹患者も29人になってしまいました。日本では不活化ワクチン(注射)で投与していますがインドなどではその管理の手軽さと医者以外でも投与できるという理由から経口ワクチンが使われています。日本でも野生株によるポリオはありませんがワクチン由来のポリオは今でも感染者が出ています。1人でも感染した小児がいれば、すべての国の小児にポリオへの感染の危険が生まれます。つまり、ポリオを根絶することは毎年3億から4億人の子供にワクチン接種を続けるということなのです。

**Q:**去年は地区の職業奉仕委員に出向しております。ロータリーが長く続けてこられているポリオ根絶ですが、私自身は1970年以降の生まれでして、あまり身近にポリオを感じたことがありません。全世界での取り組みとして長くロータリーで活動しておりますが、公共イメージとして取り組みを発信した時に、どれくらいの方に浸透しているのでしょうか？素晴らしい大きな活動しておりますが、遠い課題となっている気がしております。例えば身近な2780地区としてのシンボルになるような全体で取り組む奉仕活動を発信していく方が地域の方に浸透し、多くの方に連鎖していくのではないのでしょうか。SNSを見ていてもロータリアン向けの発信になっていて、地域の皆さんにロータリーを知ってもらうという発信が弱いのかなと感じましたのでご検討をお願いします。

**A:**今2780地区はFBに力を入れて公共イメージ向上を図っています。「ただ」ですから。試行錯誤の中ライブ配信をやったりしました。日本で初めてです。今は少し設備も整いましたが、会員向けの発信です。地域への発信は

地区ではなく、クラブがやることだと思っています。クラブがその地域に根差した奉仕活動を日ごろから発信をすること。それを見て、自分も一緒に奉仕活動に参加したいと思った人が集まって来てくれるのではないのでしょうか。

長時間にわたりご協力いただきありがとうございました。